

Over 70 years of Innovation

Future

IDECは、1945年に「和泉商会」として創業しました。ニーズに着目して開発した機械設備に欠かせない開閉器が産業界から高い評価を受け、ロングセラー製品となりました。石油コンビナートなどで活躍する防爆機器とともに、戦後復興のものづくりを支えました。



設立当時の店舗



三国工場



創業者の松木 恒雄

高度経済成長に伴う計測・制御技術需要の高まりを受けて、制御機器の総合メーカーへと転換しました。また、工場設備の自動化・機械化の進展により、電子・システム製品分野へ進出するとともに、企業規模の拡大と量産化への対応のため、海外に生産・販売拠点を設立しました。



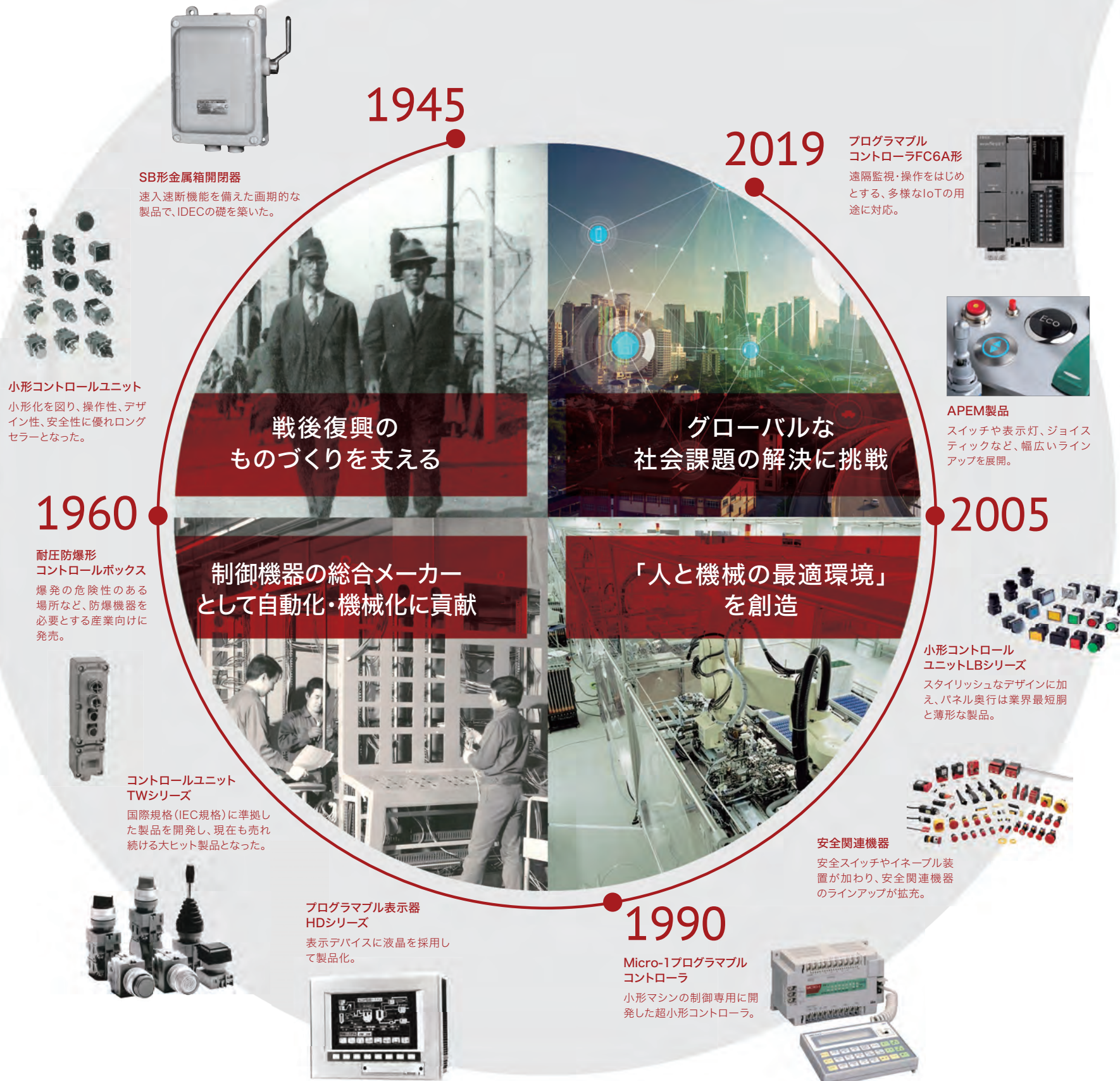
IDEC CORPORATION(米国)設立



ドイツ・ハノーバーメッセに出展



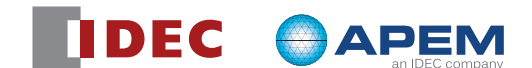
新社長方針発表会を開催し中期基本構想を発表



創業60周年を迎えた2005年、「IDEC」へと社名を変更しました。2017年にはフランスのAPEM社を買収し、グローバルビジネスの拡大を進めるとともに、社会課題の解決に貢献する新規事業にも取り組んでいます。多様化する社会のニーズに、IDECの技術を活かしたソリューションでお応えし、100周年、さらにその先の未来に向かって成長を続けていきます。



IDEC本社/技術研究センター



ものづくりの現場は、人と機械が共存する環境が主流となったことから、安全確保のニーズに応える製品として、国内初となるイネーブルスイッチなどの製品開発を進めました。また国内外の拠点を拡大するとともに、主力工場である滝野事業所には、多品種変量生産を実現する自動化・省力化設備を導入しました。



創業40周年を記念した展示会で制御機器の幅広い製品を紹介



滝野事業所に導入されたロボット制御セル生産システム